

平成30年度君津中央病院企業団病院事業会計予算(案)について

1 概要

(1) 予算編成の考え方

平成30年度は、第5次3か年経営計画の初年度となるため、新たに掲げた計画を推進するとともに、企業団の理念である良質で安全な医療を継続的に提供していくためには、公営企業の基本原則である経済性を発揮し、健全な病院経営に努める必要がある。

予算編成においては、引き続き医師・看護師の確保に重点を置くとともに診療体制の充実を図りつつ、医療需要の変化に対応できる体制を整備することを編成方針とした。

(2) 予算(案)の骨子

収入面では、前年度予定数を目標に据えるとともに更なる診療の高密度化などによる診療単価の増等により最大限の増収を図る一方、費用面では、病床稼働率85%を達成するために必要な看護師数を補うための増員による給与費の増や高額材料の使用量増による材料費の増に対し、新規事業の抑制や経営再建のための課題に対する継続的な取り組みにより経費の節減を図る。

また、外壁改修工事、心カテ機器更新(移転)工事等の実施や、電子カルテシステム更新をはじめとする設備整備により、医療機能及び施設機能の充実を図る。

2 業務予定量

(1) 本院事業

区 分		平成30年度 A	平成29年度 B	増 減 額 C(A-B)	伸 び 率 C/B
病 床 数	一 般	637床	637床	0床	0.0%
	結 核	18床	18床	0床	0.0%
	感染症	6床	6床	0床	0.0%
	計	661床	661床	0床	0.0%
延 患 者 数	入 院	206,225人	206,225人	0人	0.0%
	外 来	287,920人	287,920人	0人	0.0%
1日平均患者数	入 院	565人	565人	0人	0.0%
	外 来	1,180人	1,180人	0人	0.0%

※入院診療実日数 H29: 365日 → H30: 365日

外来診療実日数 H29: 244日 → H30: 244日

(2) 分院事業

区 分		平成30年度 A	平成29年度 B	増 減 額 C(A-B)	伸 び 率 C/B
病 床 数	一 般	36床	36床	0床	0.0%
延 患 者 数	入 院	12,045人	12,045人	0人	0.0%
	外 来	46,360人	46,360人	0人	0.0%
1日平均患者数	入 院	33人	33人	0人	0.0%
	外 来	190人	190人	0人	0.0%

※入院診療実日数 H29: 365日 → H30: 365日

外来診療実日数 H29: 244日 → H30: 244日

(3) 看護師養成事業

区 分		平成30年度 A	平成29年度 B	増 減 額 C(A-B)	伸 び 率 C/B
学 生 数	1 年	60人	60人	0人	0.0%
	2 年	62人	60人	2人	3.3%
	3 年	59人	59人	0人	0.0%
	計	181人	179人	2人	1.1%

3 収益的収支予算

(1) 概要

(単位:千円)

区 分	平成30年度 A	平成29年度 B	増 減 額 C(A-B)	伸 び 率 C/B
本院事業収益	22,379,413	21,640,381	739,032	3.4%
医業収益	20,388,023	19,674,218	713,805	3.6%
医業外収益	1,991,390	1,966,163	25,227	1.3%
分院事業収益	727,232	716,563	10,669	1.5%
医業収益	670,957	664,819	6,138	0.9%
医業外収益	56,275	51,744	4,531	8.8%
看護師養成事業収益	285,409	296,863	△ 11,454	△3.9%
特別利益	662,168	662,168	0	0.0%
収入計	24,054,222	23,315,975	738,247	3.2%
本院事業費用	22,357,346	21,617,773	739,573	3.4%
企業団管理費	2,047	2,047	0	0.0%
医業費用	21,344,815	20,616,466	728,349	3.5%
医業外費用	1,010,484	999,260	11,224	1.1%
分院事業費用	725,232	714,563	10,669	1.5%
医業費用	713,135	703,090	10,045	1.4%
医業外費用	12,097	11,473	624	5.4%
看護師養成事業費用	285,409	296,863	△ 11,454	△3.9%
特別損失	681,235	681,776	△ 541	△0.1%
予備費	5,000	5,000	0	0.0%
支出計	24,054,222	23,315,975	738,247	3.2%
純損益	0	0	0	

(摘要)

①予算規模

- ・収益的収支の予算規模は240億5,423万円(対前年度当初予算比3.2%(7億3,825万円)増)

②収益的収入

- ・本院及び分院の医業収益合計額は210億5,898万円(診療単価の増等による医業収益の増加(7億1,995万円)を見込む。)
- ・本院及び分院の医業外収益と看護師養成事業収益の合計額は23億3,308万円(3事業合わせた構成市負担金15億円(前年度と同額))
- ・特別利益として、退職手当組合からの還付金収入等の発生により6億6,217万円を計上
- ・これらによる収入の総額は、平成29年度当初予算と比較し3.2%(7億3,825万円)の増加

③収益的支出

- ・本院及び分院の医業費用合計額は220億5,795万円で、看護師の増員による給与費の増加、高額材料の使用量増による材料費の増加、電子カルテ更新に伴う委託料等経費の増加等を見込んでいる。
- ・医業収益に対する医業費用の割合は104.7%で前年度当初予算(104.8%)と比較し0.1ポイント減少
- ・看護師養成事業費用等を含む医業外費用の合計額は13億799万円
- ・特別損失として退職給付引当金繰入額等により6億8,124万円を計上
- ・これらによる支出の総額は、平成29年度当初予算と比較し3.2%(7億3,825万円)の増加

(2) 事業別収支

本院事業

(単位:千円)

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減 額	説 明
本院事業収益	22,379,413	21,640,381	739,032	前年度対比+3.4%
医業収益	20,388,023	19,674,218	713,805	前年度対比+3.6%
入院収益	14,806,955	14,338,587	468,368	前年度対比+3.3% 平均患者数565人(増減なし) 診療単価69,500円→71,800円(2,300円増)
外来収益	4,981,016	4,750,680	230,336	前年度対比+4.8% 平均患者数1,180人(増減なし) 診療単価16,500円→17,300円(800円増)
その他医業収益	600,052	584,951	15,101	前年度対比+2.6%
医業外収益	1,991,390	1,966,163	25,227	前年度対比+1.3%
国県補助金	340,718	340,818	△ 100	前年度対比△0.0% 新人看護職員研修事業補助金の減等
負担金交付金	1,260,342	1,250,614	9,728	前年度対比+0.8% 構成市負担金1,250,000千円(6,000千円増)
保育所収益	44,743	43,096	1,647	前年度対比+3.8%
長期前受金戻入	144,573	144,993	△ 420	前年度対比△0.3%
その他医業外収益	201,014	186,642	14,372	前年度対比+7.7%

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減 額	説 明
本院事業費用	22,357,346	21,617,773	739,573	前年度対比+3.4%
企業団管理費	2,047	2,047	0	前年度対比+0.0% 議員及び監査委員の報酬等
医業費用	21,344,815	20,616,466	728,349	前年度対比+3.5% 医業収益の104.8%→104.7%(0.1pt減)
給与費	11,283,221	11,075,710	207,511	前年度対比+1.9% 医業収益の56.3%→55.3%(1.0pt減) 正規職員数1,034人→1,069人(35人増) 給料3,658,380千円(74,482千円増) 手当3,064,209千円(39,512千円増) 賃金2,196,623千円(16,537千円増) 賞与引当金繰入額523,990千円(15,555千円増) 報酬1,236千円(504千円減) 法定福利費1,471,145千円(57,663千円増) 法定福利費引当金繰入額96,260千円(4,266千円増) 退職給付費271,378千円(増減なし)

(摘要)

- 入院収益及び外来収益は、診療単価の増等による増収を見込む。
一日平均患者数 一般病棟 462人 その他病棟103人

病棟区分		許可病床数	平成29年11月 累計平均患者数 (人/日)	平成30年度 想定平均患者数 (人/日)
一般(7対1)	5階～9階東・西、10階東	502	449	462
その他病棟	小児(10階西)	46	25	40
	結核(10階東)	18	3	5
	救命救急(ICU・CCU)	18	8	9
	救命救急(HCU)	16	10	10
	新生児(NICU)	9	9	9
	新生児(GCU)	32	18	18
	緩和ケア(4階東)	20	10	12
		159	82	103
	合計	661	531	565

- その他医業収益の増は、人間ドック担当医師増員を図り、受入枠を増としたことによる増収
- 国県補助金は、平成29年度補助事業における内示額を計上した。
- 負担金交付金は、構成市負担金のほか県からの国民健康保険特別調整交付金1,034万円を見込む。
- 保育所収益の増は、延べ保育児数の増による。
- その他医業外収益の増は、レンタルテレビ手数料、治験手数料、奨学金返還金等の増による。

(摘要)

①給与費

- 正規職員35人増 内訳 増員:看護師38人、准看護師2人、看護助手2人
減員:医師4人、事務員2人、労務員1人
- 臨時職員6人減 内訳 増員:医療技術員1人、事務員1人、労務員1人
減員:医師1人、看護師3人、看護助手4人、医療助手1人

※職員数の増減比較は、平成29年度当初予算の想定職員数と比較したもの

- 給料については、職員数の増加により増額
- 手当及び賞与引当金繰入額については、職員数の増加、勤勉手当の支給月数の増加による増額等
- 賃金については、非常勤医師依頼件数の増加等による増額
- 法定福利費は、職員数の増加、共済追加費用の増等による増額

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減 額	説 明
材料費	5,628,320	5,256,430	371,890	前年度対比+7.1% 医業収益の26.7%→27.6% (0.9pt増) 薬品費2,327,981千円 (163,817千円増) 医業収益の11.0%→11.4% (0.4pt増) 診療材料費3,179,570千円 (211,079千円増) 医業収益の15.1%→15.6% (0.5pt増) 給食材料費104,815千円 (443千円増) 医業収益の0.5% (増減なし)
経費	2,381,500	2,233,737	147,763	前年度対比+6.6% 医業収益の11.4%→11.7% (0.3pt増) 旅費交通費28,176千円 (3,531千円減) 光熱水費428,864千円 (49,051千円増) 修繕費151,268千円 (29,202千円減) 委託料1,413,630千円 (141,584千円増) 雑費21,893千円 (3,482千円減)
減価償却費	1,903,569	1,873,082	30,487	前年度対比+1.6% 建物・建物附属設備997,006千円 (9,619千円増) 器械備品764,895千円 (67,644千円増) 車両1,067千円 (456千円減) ソフトウェア9,529千円 (4,569千円減) リース資産131,072千円 (41,751千円減)
資産減耗費	40,414	69,716	△ 29,302	前年度対比△42.0% 棚卸資産減耗費3,732千円 (984千円減) 固定資産除却費36,682千円 (28,318千円減)
研究研修費	107,791	107,791	0	前年度対比+0.0% 謝金202千円増 図書費109千円減 旅費49千円増 研修会費1,058千円増 研究雑費1,200千円減
医業外費用	1,010,484	999,260	11,224	前年度対比+1.1%
支払利息	214,874	233,964	△ 19,090	前年度対比△8.2% 企業債利息17,089千円減
奨学金	111,000	124,800	△ 13,800	前年度対比△11.1% 予定数198人→175人 (23人減)
消費税	31,549	30,012	1,537	前年度対比+5.1%
保育所運営費	123,487	126,278	△ 2,791	前年度対比△2.2% 保育児数116人→104人 (12人減)
その他医業外費用	529,574	484,206	45,368	前年度対比+9.4%

(摘要)

②材料費

- ・高額材料使用量の増や医業収益の増加を見込むことによる増額

③経費

○光熱水費

- ・契約単価が、前年度当初予算編成時と比較し電気料金で2.7円/kWh、ガス料金で13円/m³の増を見込む。
- ・使用予定量は、前年度当初予算編成時と比較して電気で580,813kWh、ガスで42,529m³、上下水道で2,841m³の減を見込む。
- ・上記の理由により電気料金22,783千円、ガス料金28,660千円の増額、上下水道料金2,392千円の減額

○修繕費

経年劣化した建物、附属設備、医療機器等の修繕

<主な修繕予定>

- ・第2変電室変圧器更新工事 10,692千円
- ・第2変電室電気器具更新工事 11,195千円
- ・入退院支援センター設置工事 10,800千円
- ・医療機器等修繕 75,600千円

○委託料

- ・医療器械保守、設備保守、ドクターヘリ運航、院内清掃、医師・看護師紹介等、職員では行えないもの、職員を雇用して行うより委託したほうが効率的な業務を委託
- ・電子カルテシステム更新に伴う対応作業委託の発生による増額、元号改元に伴う作業委託の発生による増額等

④減価償却費

- ・器械備品について、償却終了による減額よりも前年度購入した器械の償却が開始したことによる増額が上回ったことによる増額
- ・リース資産は償却対象資産が減少したため減額

⑤資産減耗費

- ・昨年度と比べて固定資産の除却対象機器が減少したことによる減額

⑥研究研修費

- ・研修会費については、千葉大学医学部附属病院経営スペシャリスト養成プログラムの受講による増額
- ・研究雑費については、医師数の減による減額

⑦支払利息

- ・企業債利息については、借入年数経過による減額

⑧その他医業外費用

- ・貯蔵品購入額及び前年度の固定資産購入額の増に伴う控除対象外消費税の増による増額

分院事業

(単位:千円)

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減 額	説 明
分院事業収益	727,232	716,563	10,669	前年度対比+1.5%
医業収益	670,957	664,819	6,138	前年度対比+0.9%
入院収益	337,260	342,078	△ 4,818	前年度対比△1.4% 平均患者数33人(増減なし)
外来収益	305,976	296,704	9,272	前年度対比+3.1% 平均患者数190人(増減なし)
その他医業収益	27,721	26,037	1,684	前年度対比+6.5%
医業外収益	56,275	51,744	4,531	前年度対比+8.8%
負担金交付金	35,400	30,400	5,000	前年度対比+16.4% 構成市負担金32,000千円(5,000千円増)
長期前受金戻入	1,143	1,177	△ 34	前年度対比△2.9%
その他医業外収益	19,732	20,167	△ 435	前年度対比△2.2%

(摘要)

- ・ 地域に密着した医療の提供による患者数の安定的確保
- ・ 入院収益は、前年度実績を踏まえ、診療単価の減を見込むことによる減収
- ・ 外来収益は、前年度実績を踏まえ、診療単価の増を見込むことによる増収
- ・ その他医業収益は、前年度実績を踏まえ、人間ドック利用者数の増を見込むことによる増収
- ・ 負担金交付金は、構成市負担金のほか、県からの国民健康保険特別調整交付金340万円を見込む。

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減 額	説 明
分院事業費用	725,232	714,563	10,669	前年度対比+1.5%
医業費用	713,135	703,090	10,045	前年度対比+1.4% 医業収益の105.8%→106.3%(0.5pt増)
給与費	515,589	511,283	4,306	前年度対比+0.8% 医業収益の76.9%→76.8%(0.1pt減) 正規職員数35人→37人(2人増) 給料148,104千円(4,617千円増) 手当122,016千円(1,120千円減) 賃金144,152千円(1,954千円増) 賞与引当金繰入額23,721千円(106千円減) 法定福利費64,193千円(1,064千円減) 法定福利費引当金繰入額4,255千円(25千円増) 退職給付費9,148千円(増減なし)
材料費	72,664	74,499	△ 1,835	前年度対比△2.5% 医業収益の11.2%→10.8%(0.4pt減) 薬品費22,778千円(1,516千円減) 診療材料費41,015千円(319千円減)
経費	77,095	74,352	2,743	前年度対比+3.7% 消耗品費3,059千円(226千円増) 光熱水費11,911千円(718千円増) 修繕費10,816千円(276千円増) 委託料32,272千円(1,521千円増)

(摘要)

①給与費

- ・ 正規職員2人増 内訳 医療技術員1人、医療助手1人及び労務員1人の増、准看護師1人の減
- ・ 臨時職員1人減 内訳 看護師2人の増、医療技術員1人、医療助手1人及び労務員1人の減
※職員数の増減比較は、平成29年度当初予算の想定職員数と比較したもの
- ・ 給料については、職員数の増加による増額
- ・ 手当及び賞与引当金繰入額については、職員数の増加、勤勉手当の支給月数の増加による増額等
- ・ 賃金については、非常勤医師依頼件数の増加等による増額

②材料費

- ・ 薬品費については、前年度実績を踏まえ医業収益比率が低下していることによる減

③経費

○光熱水費

- ・ 契約単価が、前年度当初予算編成時と比較し電気料金で1.0円/kWh、水道料金で0.9円/m³の増を見込む。
- ・ 使用予定量は、前年度当初予算編成時と比較して電気で7,000kWh、上水道で330m³の増を見込む。
- ・ 上記の理由により電気料金562千円、水道料金156千円の増額

○修繕費

<主な修繕予定>

- ・ 医局棟2階屋根塗装工事 1,134千円
- ・ 医局棟2階窓改修工事 4,752千円
- ・ 医療機器等修繕 2,500千円

○委託料

- ・ 蛍光灯安定器処分業務の発生による増額

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減 額	説 明
減価償却費	40,479	38,534	1,945	前年度対比+5.0% 建物・建物附属設備13,477千円(9千円減) 器械備品26,838千円(7,197千円増) 車両164千円(140千円増) リース資産償却なし(5,383千円減)
資産減耗費	5,006	1,700	3,306	前年度対比+194.5%
研究研修費	2,302	2,722	△ 420	前年度対比△15.4%
医業外費用	12,097	11,473	624	前年度対比+5.4%

(摘要)

④減価償却費

- ・ 器械備品について、償却終了による減額よりも前年度購入した器械の償却が開始したことによる増額が上回ったことによる増額
- ・ リース資産は30年度に除却するため償却額は発生しない見込み

⑤資産減耗費

- ・ リース資産の除却による固定資産除却費の増額

⑥研究研修費

- ・ 前年度、実習指導者講習会受講による旅費及び研修会費を計上していたため減額

⑦医業外費用

- ・ 前年度の固定資産購入額の増額に伴う控除対象外消費税の増による増額

看護師養成事業

(単位:千円)

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減 額	説 明
看護師養成事業収益	285,409	296,863	△ 11,454	前年度対比△3.9%
学費収益	42,528	42,448	80	前年度対比+0.2% 学生数179人→181人 授業料収益360千円増 その他学費収益280千円減
負担金交付金	218,000	229,000	△ 11,000	前年度対比△4.8% 構成市負担金218,000千円(11,000千円減)
長期前受金戻入	11,363	12,909	△ 1,546	前年度対比△12.0%
その他事業収益	13,518	12,506	1,012	前年度対比+8.1% 学生寄宿舍寮費等12,744千円(722千円増)

(摘要)

- ・ 授業料収益増は、在籍学生数の増加によるもの
- ・ 学生寄宿舍寮費等収益は前年度実績を踏まえて見込むことによる増額

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減 額	説 明
看護師養成事業費用	285,409	296,863	△ 11,454	前年度対比△3.9%
給与費	165,538	172,835	△ 7,297	前年度対比△4.2% 正規職員数18人(増減なし) 給料71,902千円(1,048千円減) 手当36,006千円(621千円増) 賃金9,424千円(7,662千円減) 賞与引当金繰入額9,461千円(159千円増) 報酬9,350千円(390千円増) 法定福利費23,471千円(209千円増) 法定福利費引当金繰入額1,766千円(34千円増) 退職給付費4,158千円(増減なし)
教育費	6,701	7,202	△ 501	前年度対比△7.0%

(摘要)

①給与費

- ・ 正規職員増減なし
- ・ 臨時職員3人減 内訳 教務員1人及び事務員2人の減
※職員数の増減比較は、平成29年度当初予算の想定職員数と比較したもの
- ・ 給料及び手当については、教務員1名の再任用短時間勤務職員への変更、人事異動による職員の入れ替え、勤勉手当の支給月数の増加等による増減あり
- ・ 賃金については、職員数の減による減額
- ・ 報酬については、非常勤講師への依頼件数増による増額

②教育費

- ・ 教育材料費及び教育用消耗備品費の減による減額

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減 額	説 明
経費	16,870	18,074	△ 1,204	前年度対比△6.7% 光熱水費3,332千円(198千円増) 賃借料1,133千円(701千円減) 通信運搬費432千円(102千円減) 委託料6,856千円(473千円減) 学生対策費1,307千円(102千円減)
寄宿舍費	5,845	5,839	6	前年度対比+0.1% 光熱水費4,461千円(274千円増) 委託料1,258千円(268千円減)
減価償却費	65,803	67,589	△ 1,786	前年度対比△2.6% 建物・建物附属設備58,881千円(増減なし) 器械備品6,922千円(1,786千円減)
資産減耗費	12	367	△ 355	前年度対比△96.7%
研究研修費	487	837	△ 350	前年度対比△41.8% 旅費195千円(増減なし) 研修会費292千円(350千円減)
支払利息	13,154	13,154	0	前年度対比+0.0%
長期前払消費税額償却	10,999	10,966	33	前年度対比+0.3%

(摘要)

③経費

- ・ 賃借料については、コピー機カウンター料減による減額
- ・ 委託料については、消防設備等点検業務の減額による減額等

④寄宿舍費

- ・ 光熱水費については、前年度実績を踏まえ見込むことによる増額
- ・ 委託料については、消防設備等点検業務の減額による減額等

⑤減価償却費

- ・ 器械備品については、前年度購入した器械の償却が開始したことによる増額よりも償却終了による減額が上回ったことによる減額

⑥資産減耗費

- ・ 除却資産の減による固定資産除却費の減額

⑦研究研修費

- ・ 前年度、看護教員養成研修受講による研修会費を計上していたことによる減額

⑧支払利息

- ・ 看護学校校舎及び学生寄宿舍の企業債支払利息額

特別損益・予備費

(単位:千円)

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減 額	説 明
特別利益	662,168	662,168	0	前年度と同額 退職手当組合からの還付金収入662,166千円

(摘要)

- ・ 当企業団が加入している退職手当組合である千葉縣市町村総合事務組合に対し毎年度負担金を納付しているが、定められた積立基準額を超過した金額については還付されることになっており、それを特別利益として受け入れるもの

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減 額	説 明
特別損失	681,235	681,776	△ 541	前年度対比△0.1% 過年度損益修正損失15,465千円 本院13,465千円(3,059千円増) 分院2,000千円(増減なし) その他特別損失665,770千円 退職給付引当金繰入額662,167千円 医師研究資金貸付金返還免除金3,600千円
予備費	5,000	5,000	0	前年度対比+0.0%

(摘要)

- ・ 過年度損益修正損失は、平成30年2月及び3月分の保険者請求分のうち査定減分の欠損処理予定額
- ・ 退職給付引当金繰入額については、退職手当組合からの還付金の発生により退職給付引当金を計上するもの(計上する額は、企業団の退職給付債務から、退職手当組合に積立てている積立金額を控除した額)
- ・ 医師研究資金貸付金返還免除金については、借受者のうち返還免除対象となる者が発生するため計上するもの

4 資本的収支予算

(1) 概要

(単位:千円)

区分	平成30年度	平成29年度	増減額	説明
資本的収入	800,006	600,006	200,000	
企業債	800,000	600,000	200,000	医療機器200,000千円 電子カルテ600,000千円
その他収入	6	6	0	

区分	平成30年度	平成29年度	増減額	説明
資本的支出	2,844,903	2,858,116	△ 13,213	前年度対比△0.5%
建設改良費	1,583,368	1,688,717	△ 105,349	前年度対比△6.2%
建設工事費	326,578	289,677	36,901	前年度対比+12.7% 本院371,728千円、分院8,850千円 外壁改修工事124,170千円 心カテ室更新(移転)工事108,000千円 医局部門空調設備更新工事32,458千円 分院手術室空調機更新工事6,042千円
医療機械器具費	373,007	958,176	△ 585,169	前年度対比△61.1% 本院361,731千円、分院11,276千円
備品費	818,231	260,661	557,570	前年度対比+213.9% 本院816,054千円、分院1,893千円 学校284千円
リース資産購入費	65,552	180,203	△ 114,651	前年度対比△63.6%
企業債償還金	1,236,534	1,144,398	92,136	前年度対比+8.1%
長期貸付金	24,000	24,000	0	前年度対比+0.0%
その他支出	1,001	1,001	0	
収支不足額	△ 2,044,897	△ 2,258,110	213,213	

(摘要)

①建設工事費

- 外壁改修工事は、3か年継続事業の2年目として工事費121,068千円、監理業務委託料3,102千円を予算計上するもの。
- 心カテ室更新(移転)工事は、現在の心カテ室で使用している血管造影X線診断装置の更新に備えた新機器設置のため、現在の外来手術室を心カテ室として使用できるようにするための改築工事を予算計上するもの。
- 医局部門空調設備更新工事及び分院手術室空調機更新工事は、耐用年数を経過した空調設備の更新工事を計上するもの。

②医療機械器具費

- 超広角走査レーザー検眼鏡、酸化エチレンガス滅菌器、セントラルモニタシステム等購入予定機器分を予算計上するもの。また、その財源の一部として企業債収入を計上している。

③備品費

- 電子カルテシステム、循環器科画像ファイリングシステム等購入予定機器を予算計上するもの。また、電子カルテシステム購入の財源として企業債収入を計上している。

④リース資産購入費

- リース期間経過による減額

⑤企業債償還金

- 現病院建設分967,396千円、旧病院関係57,737千円、医療機器分211,401千円

⑥長期貸付金

- 医師確保対策の一つである研究資金貸付制度、平成30年度は5名の貸付を予定

(2) 資本的収支不足額の補てん

資本的収支不足額20億4,490万円については、次のとおり補てんする。

(単位:千円)

項目	使用可能額	使用額	未使用額
過年度損益勘定留保資金	825,751	825,751	0
当年度損益勘定留保資金	1,988,073	1,094,976	893,097
減債積立金	104,000	0	104,000
建設改良積立金	512,145	124,170	387,975
財政調整積立金	1,090,566	0	1,090,566
合計	4,520,535	2,044,897	2,475,638

5 債務負担行為

事項	期間	限度額
血管造影X線診断装置及び周辺機器購入	平成30年度から平成31年度まで	216,000千円
元号改元に伴う対応作業委託	平成30年度から平成31年度まで	3,833千円

- 業務が平成31年度までわたるものについて債務負担行為を設定しようとするもの

6 主要施策に対する予算

(1) 医療機能の充実

(ア) 人材の確保

教授等招聘制度	(3条予算)	600 千円
---------	--------	--------

特に効果のある医師確保対策の一である大学医局への派遣依頼の円滑な推進のため、大学医局との連携強化を目的に教授、医局長等を招聘し、診療(特殊な手術等)や講演を行ってもらおう。

医師紹介手数料	(3条予算)	44,064 千円
---------	--------	-----------

医師の確保を図るための人材紹介業者の活用

医師・看護師確保対策費	(3条予算)	12,651 千円
-------------	--------	-----------

医師及び看護師の確保を図るため、合同就職説明会への出展、求人誌及び求人サイトへの掲載、医師採用促進業務のアウトソーシング、関連大学や養成施設への訪問等を行う。

院内保育所の運営	(3条予算)	123,487 千円
----------	--------	------------

医師及び看護師の勤務環境の改善を図るため、出産、育児による離職の防止及び復職の促進を目的とした院内保育所の運営

看護師養成奨学金	(3条予算)	111,000 千円
----------	--------	------------

看護師を養成することにより看護師の確保を図るため、当院の附属看護学校又は他の看護師養成施設へ入学した者に奨学金を貸与する(月額5万円175人、準備金30万円20人予定)。

医師研究資金貸付	(4条予算)	24,000 千円
----------	--------	-----------

医師の確保を図るため、県外から赴任する医師を対象に研究資金を貸し付ける(限度額480万円5人)。

(2) 医療の質の向上

(ア) 施設・設備及び医療機器等の整備

施設・設備の計画的な整備

外壁改修工事の実施	(4条予算)	124,170 千円
-----------	--------	------------

継続費平成30年度分年割額を計上

心カテ室更新(移転)、医局部門空調設備更新、分院手術室空調機更新ほか		
	本院(4条予算)	193,558 千円
	分院(4条予算)	8,850 千円

医療機器の計画的な導入・更新

セントラルモニタシステム、超広角走査レーザー検眼鏡、滅菌装置ほか	(4条予算)	373,007 千円
----------------------------------	--------	------------

情報システムの計画的な導入・更新

電子カルテ、循環器画像ファイリングシステムほか	(4条予算)	790,420 千円
部門システム接続費等	(3条予算)	142,839 千円

(イ) サービスの向上

入退院支援センターの設置

入退院支援センター設置工事	(3条予算)	10,800 千円
---------------	--------	-----------

入院予定患者の社会的・身体的・精神的リスクを入院前に把握し、入院前から退院後まで多職種との連携による支援を提供するための体制を整備する。

(ウ) 第三者機関による評価

病院機能評価の更新

病院機能評価更新(平成31年度)に向けた取り組みの実施	(3条予算)	1,296 千円
-----------------------------	--------	----------

受審申込、模擬審査受審、講演会開催を行う。

(3) 安定的な経営の確保

適正な診療報酬請求事務	(3条予算)	401 千円
-------------	--------	--------

診療報酬請求の専門家から診療報酬請求事務についての指導を受ける。

DPCデータの活用と診療報酬の対策強化

DPC分析アドバイザーの活用	(3条予算)	446 千円
----------------	--------	--------

医療の効率化による安定した収入確保のため、アドバイザーを招いてDPCデータを活用した診療実績の分析を行う。

未収金発生防止

未収金管理回収業務の委託	本院(3条予算)	1,645 千円
	分院(3条予算)	169 千円

未収金の縮減のため、回収が困難なケースについて、法律事務所に未収金回収を委託する。

(4) 教育・研修等の充実

e-ラーニングシステムを活用した新人看護職員研修の実施	(3条予算)	692 千円
-----------------------------	--------	--------

e-ラーニングシステムを活用した事前研修を行うことで、集合研修の効率化や実践力の向上を図る。

日本専門医機構研修プログラム認定料及び維持管理費	(3条予算)	160 千円
--------------------------	--------	--------

7 平成30年度構成市負担金

(1)負担金一覧

	4条予算	3条予算				合計 (A+B)
	他会計負担金 充 当 分 (A)	本 院 運 営 費	分 院 運 営 費	学 校 運 営 費	小 計 (B)	
木更津市	0	520,900,000	2,480,640	79,709,520	603,090,160	603,090,160
君津市	0	326,600,000	3,568,640	55,919,180	386,087,820	386,087,820
富津市	0	215,200,000	24,212,480	37,225,680	276,638,160	276,638,160
袖ヶ浦市	0	187,300,000	1,738,240	45,145,620	234,183,860	234,183,860
計	0	1,250,000,000	32,000,000	218,000,000	1,500,000,000	1,500,000,000

(2)期別負担額

	第1期	第2期
木更津市	301,545,080	301,545,080
君津市	193,043,910	193,043,910
富津市	138,319,080	138,319,080
袖ヶ浦市	117,091,930	117,091,930
計	750,000,000	750,000,000

(3)納付期限

第1期 平成30年8月27日

第2期 平成31年2月25日

(4)参考資料

①本院運営費

市名	利用者数		利用者割	均等割	合計
	人数	割合			
木更津市	194,900人	45.84%	458,400,000	62,500,000	520,900,000
君津市	112,266人	26.41%	264,100,000	62,500,000	326,600,000
富津市	64,928人	15.27%	152,700,000	62,500,000	215,200,000
袖ヶ浦市	53,037人	12.48%	124,800,000	62,500,000	187,300,000
合計	425,131人	100.00%	1,000,000,000	250,000,000	1,250,000,000

②分院運営費

市名	利用者数		利用者割	均等割	合計
	人数	割合			
木更津市	1,869人	3.44%	880,640	1,600,000	2,480,640
君津市	4,175人	7.69%	1,968,640	1,600,000	3,568,640
富津市	47,961人	88.33%	22,612,480	1,600,000	24,212,480
袖ヶ浦市	290人	0.54%	138,240	1,600,000	1,738,240
合計	54,295人	100.00%	25,600,000	6,400,000	32,000,000

③学校運営費

市名	人口		人口割	均等割	合計
	人数	割合			
木更津市	135,242人	41.52%	63,359,520	16,350,000	79,709,520
君津市	84,451人	25.93%	39,569,180	16,350,000	55,919,180
富津市	44,552人	13.68%	20,875,680	16,350,000	37,225,680
袖ヶ浦市	61,474人	18.87%	28,795,620	16,350,000	45,145,620
合計	325,719人	100.00%	152,600,000	65,400,000	218,000,000

④利用者数・人口

市 別	本院利用者数	本院構成比	分院利用者数	分院構成比	人口	構成比
木更津市	194,900人	45.84%	1,869人	3.44%	135,242人	41.52%
君津市	112,266人	26.41%	4,175人	7.69%	84,451人	25.93%
富津市	64,928人	15.27%	47,961人	88.33%	44,552人	13.68%
袖ヶ浦市	53,037人	12.48%	290人	0.54%	61,474人	18.87%
計	425,131人	100.00%	54,295人	100.00%	325,719人	100.00%

※表中の金額の単位はいずれも円

※(4)-④「利用者数・人口」の利用者は平成28年度実績、人口は平成29年8月1日現在の常住人口